

静岡県立富士高等学校2年生：望月響

今回のプログラムは自分を確実に成長させ、将来海外で活躍できるような人材になりたいと思わせてくれました。今回のプログラムに僕は、「海外で味噌ラーメン屋を作りたい」という強い思いを持って応募しました。普段からラーメンが好きでよく食べていて、海外で日本のラーメンがとても人気だと聞いて、いつか自分も日本の味噌ラーメンを海外に届けたいと思っていました。今回のプログラムはこの思いのこれからの指標を示してくれたと思います。



まずは初日、人生で初めて飛行機に乗った時に、これからついに海外へ行くんだとワクワクと不安が半分半分でした。そして長時間のフライトを終えた後、空港を出た時にまず誰も赤信号で止まっていませんでした。この時に初めて、今自分がいるのは日本ではないんだと実感できました。その後、良子さんの家に着いてから、正直これから10日間も自分はニューヨークで暮らしていけるのか、とても不安で押し潰されそうでした。でもたくさんの人と出会っていくうちに、その不安は消え、この文章を書いている最終日の今、日本に帰りたくないと思うようになりました。”まだニューヨークを感じていたい“そんな気持ちでいっぱいです。

そしてラーメン。2日目にマンハッタン内の Marufuku Ramen で豚骨ラーメンを食べた時に思った正直な感想は”油が凄い“でした。日本のものとは違う種類のチャーシューを使っているせいか、油が多く、本当の豚骨ラーメンではないと感じました。そして5日目に Hide-chan



Ramen という場所で味噌ラーメンを食べた時にも、こちらも Marufuku よりは油が少ない日本の味噌の本当の美味しさは伝わっていないと感じました。まだまだ進歩の途中だと感じました。よりラーメン屋を開きたいという気持ちが強まりました。

そして治安について、ニューヨークに来る前は日本よりは危険ぐらいの認識でいました。今回来て分かったことは場所による治安の差が激しいということです。コロンビア大学周辺を訪れた際にとっても治安の良い場所で、こんな所で生活したら楽しいだろうなと思っていました。そしてコロンビア大学の見学が終わった後、コロンビア大学の右側の階段を降りる時



に良子さんから「ここから治安が悪くなるよ」と言われ、正直そんなすぐに治安が悪くなるなんて大袈裟だろうと思っていました。でも実際は違いました。階段を下りた瞬間に多くの黒人が道路で話をしていたり、浮浪者がいたりと空気が変わったように感じました。大学の西側と東側でこんなにも違うのかと驚くと同時にこれがニューヨークなのだかと理解しました。そして地下鉄にもとても驚きました。ニューヨークの地下鉄は危険だと知っていたけれど、想像していたよりもずっと危険でした。まず、臭いがひどく、日

本ではありえない電車の遅延とかもあります。そして、中には様々な人種の人々が会話をしたり本を読んだりしていて、人種のサラダボウルと呼ばれる理由が分かったような気がしました。4日目に乗った時に、隣に座っていた人が突然空中に向かって叫びだした時は本当に怖かったです。



次にニューヨークに住む人々の人柄についてです。最初は怖い人が多いのかななどと思っていました。でも実際会ってわかったことは、アメリカ人は全員（少なくとも今回会った人は）優しいということです。良子さんの娘さんの Myra さんやハンター大学で出会った生徒たち、Japan Culture Center で出会った Michael、Alex、そして1泊させてもらった Ryan



さんなど全員が優しく感動しました。僕が英語を理解できない時にも、彼らは優しく教えてくれて、こんなに温かい人たちで良かったと思いました。特に、1泊させてもらった Ryan さんは日本語を勉強していて、互いに言語を教えあっているうちに、心の距離も縮まったような気がしてとても嬉しかったです。それと同時に、より互いを知るために英語をより勉強しなくてはならないと思うようになりました。そしてさらにアメリカ人ではないけれど、マンハッタンに1泊させてもらった筒井さん夫婦やプールパーティーに来てくれた旦さん夫婦や天尾さんご一家など、全員からお話を聞くことができるととても貴重な経験になりました。全員から話を聞いていく中で、自分も将来海外で働いてみたいと思う心がより一層強くなったと思います。



英語については、自分の英語力で聞き取ることができるか不安だったけれど、自分が分か

らなかった時には相手がもう1回やさしく説明してくれるし、時には身ぶり手ぶりを使って教えてくれたので、理解できるのと同時に、少しずつ向上していくのが身に染みて実感したような気がします。特に発音は若いうちからやっておいたほうが良いといわれたので、これから重点的にやっていきたいと思いました。

今回のプログラムは様々な人との出会いや、ニューヨークの文化や歴史を肌で感じられて一生の思い出になりました。この若さで行くからこそ意味のあるものだと思います。今回出会った人からの”今からなら何にでもなれる”という言葉が特に強く印象に残っています。今回のプログラムで自分の人生の可能性が大きく広がったと同時に、今まで自分がいかに狭い世界で生きてきたのかを知らされました。そして、これから最大限の努力をして自分がなりたいものになると強い意思ができました。来年行く人も、少しでも興味があればすぐに応募するべきだと思います。不安でも、行って後悔することは絶対ないです。



最後に、今回のプログラムで出会った人たち全員に感謝を伝えたいです。そして、今回のプログラムを作ってくれた良子さんには感謝してもしきれません。ありがとうございました。そして、最高の10日間でした！！

※来年行く人へ

- ・写真は撮り過ぎなくらい撮った方がいいです
- ・行きたいところはたくさん候補を出した方がいいです
- ・アメリカの方々に渡すお土産も持って帰るお土産もいっぱい買った方がいいです
- ・迷っているなら応募したほうがいいです
- ・英語は、事前に勉強すればするほど楽しくなります

